



はと考えた。	では、ここで述べる、トランジットモーター	の定義、適用区域などを述べる。	まず、定義を述べる。トランジットモーター	とは、中心市街地のメインストリートなどで	一般車両を制限し、道路を歩行者・自転車と	バスなどの公共交通機関に開放することです。	の賑わいを創出しようとするものである。	次に、適用区域である。ここで言う天神地	区とは、北は昭和通り、南は国体道路、東は	那珂川、西は天神西通りで囲まれた区域とする。	る。	定義で述べたとおり、天神地区から一般車	両を制限するわけだが、救急車両や警察車	両、また介護関係の車両は対象外とする。要	するに、買い物や仕事関係での一般車両を制	限することである。商品の運搬などは、現在	も使用されている「天神共同集配システム」	で対応していく。	これで、天神地区の交通量は抑えられるの
--------	----------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	------------------------	----	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------	---------------------

で、車線を減らし歩道を大きくとることが可能になった。また、駐車場だった場所を駐輪場として使うことにより、自転車問題は解決できると考える。

一般車両を制限したことで、買い物客が減る恐れが生じる。これに対しては、バスなどの公共交通の利便性を高めることが必要である。自家用車で来るより、魅力的な公共交通のアクセスでないという意味がない。また、天神地区内の公共交通の利便性も高くないと、不便である。このように公共交通の整備を行うことによつて集客数は上がると思う。

しかし、いくら人が集まるようになっても買い物をしてもらわないと、よい経済効果が得られない。トランジットモールに似たもので、昔、原宿にあつた歩行者天国がある。しかし、今はもうなくなつていゝ。なぜなくなつたのか？その理由のひとつとして、路上パフォーマンスがあると考えられる。確かに人が集まるが、それだけでは利益につながらない。

い。そこで、天神地区では、ある程度規制を  
することにする。路上パフォーマンスは、集  
客率が高いと思うので、許可できる場所を設  
けておけばよい。これによつて、見学に来る  
人、買い物に来る人など様々な人々が行きか  
うことによつて、天神がもつと元気のある  
街、しかも安全で楽しい街になると思う。